

<p>【教材・教具名】</p> <p>ひも通し ボタンの仕組みを理解する</p>	<p>【教科・領域】</p> <p>自立活動</p>
<p>【教材の使用材料】</p> <p>ひも通し…割り箸、毛糸、ホース ボタンのはめ外し…フェルト、ボタン(大きめ)</p>	
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目と手の協応を図る。 ・手指の巧み性を高める。 ・ひも通しから、ボタンのはめ外しにステップアップする。 	
<p>○使用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ひも通し(ホースを一つずつ渡す、一度にすべて渡すなど) ②ボタンを外してホースを出す→ひも通しをする ③ボタン外し→ひも通し→ひも通しの道具を袋に入れてボタンをはめる <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>③</p>  </div> </div> <p>○工夫した所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袋のボタンホールを大きくすることで、ボタンを通しやすくした。 ・袋とボタンは見分けやすい色にした。 ・ひも通しを楽しみにすることで、ボタンのはめ外しに自然に取り組みやすい。 	
<p>○効果</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ひも通しは意欲的で、手元を見て取り組むことができた。 ②ボタン外しは、容易に外れるようになっているため、自然に取り組めた。 ③ボタンホールにボタンを入れるという仕組みを一度提示すると、手元をよく見てボタンをはめることができた。 	